

徳島県立国府支援学校



1 学校の概要

- ① 児童生徒数 266名
- ② 校訓『明るく 正しく たくましく』
- ③ 環境目標・テーマ

地球にやさしく、環境にもやさしい学校づくりに取り組みます。

～学校全体で取り組むこと、個人でできること、今我々に何ができるかをしっかり考え、実践していきます。～

2 行動方針

- ① 「節電」「ゴミ分別」「リサイクル」に取り組み、省資源化を目指します。
- ② 学校周辺の環境美化に取り組み、地域の自然環境を大切にします。
- ③ 不要品を再利用した作品を作り、物を大切にする豊かな心を育てます。

3 行動

- ① 「節電」「ゴミ分別」「リサイクル」の取り組み



節電の取組



古紙回収



空き缶回収



ペットボトル回収

節電については、校内の電気のスイッチに節電を促すシールを貼付したり、7月の学部集会時に、生徒会役員が家庭でできる節電対策について説明し、各家庭での節電の取り組みについても促した。実施後には取り組みの結果を表にまとめ発表した。また、リサイクル活動としては、牛乳パック・ペットボトル・空き缶・段ボールの回収作業を行い、資源の再資源化に努めた。

- ② 地域での清掃活動の取り組み



学校周辺の神社やマラソンコースとなっている道路の清掃活動を行った。神社の清掃活動では、自然の中で季節の移り変わりを感じながら活動をする事ができた。

③ 家庭と協力したリサイクル活動の取り組み



エコバッグ
(傘) かご・花びん
(新聞の折込広告) モザイク画
(空き箱) カード・メモ用紙
(紙パック)

各家庭に依頼し、布（不要な傘・洋服）・古紙・空き箱・紙パック等を提供していただき、エコバッグ、アンデセン手芸、モザイク画、紙漉き、パッチワークづくり等授業で活用し環境に配慮した作品作りに取り組んだ。

④ 企業と連携したリサイクル活動の取り組み



企業より提供して頂いた制服縫製後の残布を用いて、エコバッグや箸袋をつくり、学校祭バザーや交流校の生徒に配布した。エコバッグや箸袋を持参することは、ゴミの削減になり、環境啓発活動に役立てることができた。

4 具体的効果

- ◆ 生徒一人一人が、紙パック・ペットボトル・空き缶・段ボールの回収作業を通して、限られた資源の再利用について考えたり、不要品を使って作品を製作することによって物を大切にすることについて考えることができた。
- ◆ 電気のスイッチに節電シールを貼付したり、使用電気・水道量をグラフ化して掲示したことにより、節電・節水に対する意識の向上が見られるようになった。
- ◆ 制服メーカーより制服の余布を提供して頂き、エコバッグや箸袋をつくり、学校祭バザーや交流校の生徒に配布するなど、有効活用できたことにより、活動を通して社会とのつながりを持つことができた。

5 改善点

- ◆ 環境に関する本・資料の紹介や講演会等を行い、児童生徒の環境に対する関心や知識をさらに深めていきたい。
- ◆ 児童生徒たちが自分でできることを心がけて実践できるよう、今後も家庭・地域にも協力を求めながら取組を広げていく。
- ◆ 環境問題の取り組みが校内だけにとどまらず、地域や社会と関わりながら実践できるよう取り組み方法を検討する。
- ◆ 定期的に内部評価を行い、行動方針及び計画の見直し・改善に努める。